

葛飾区工事成績評定表(報告書)

年 月 日

契約管財課長 殿

工事主管課長(公印省略)

工事件名				受注者	
工事場所				現場代理人	
契約番号	契約月日	年 月 日	契約金額		
工 期	令和 年月日から令和 年月日まで			完了検査日	年 月 日
工 種	解体			種 別	解体
考查項目	細 目	細 目 内 容	細目評価点	細目評定点	項目評定点
項目係数(A)	細目係数(B)	(考查の着眼点)	(C)	(D=B×C)	(E=Σ(A×D))
施工体制 15	現場代理人(主任・ 監理技術者を含む) 現場作業員 (0.7)	・全体の把握 ・指揮統率力 ・施行管理能力など ・作業員の熟練度 ・作業員の作業態度など			
	渉外調整 (0.3)	・官公署との調整 ・周辺住民との対応 ・監督員への報告や連絡			
現場管理 15	関係法令の遵守 (0.3)	・建設業法、道路交通 法等の遵守			
	安全衛生管理 (0.4)	・場内安全衛生管理 ・仮設・機械の安全点検 ・場内作業事故の有無 ・危険物の安全確保			
	現場の整理 環境・交通対策 (0.3)	・現場内の整理・整頓 ・資機材の保管状況 ・周辺環境への配慮 ・安全施設や交通整理要員配置			
工程管理 15	工程計画の適正 工程の調整 工程の遵守 (1.0)	・工事全体を考慮した ・合理的な工程計画 ・状況変化に対する対応 ・関連事業者との協力調整 ・工程の遵守			
施工管理 20	施工計画 (0.4)	・施工計画の内容 ・施工手順の適否			
	提出書類の整備 (0.3)	・関係書類の提出状況と内容 ・写真及び施工データ ・記録の分析整理			
	出来栄え (0.3)	・仕上り外観、出来形寸法 ・手直しの多少 ・材料の品質及び均一性 ・試験の成績			
所 見	監督員				計
					加 点
	主任 監督員				減 点
	(係長)				監督員評定点計

- ☆ 監督員評定は、70点満点とする。
- ☆ 項目評価点は、小数点第1位を四捨五入する。
- ☆ 加点は、特に技術力、創意工夫、熱意、社会的貢献などで評価できる場合、1項目ごとに、最大5点まで付与できる。
- ☆ 減点は、指導内容が同一で、文書による指導回数が1回(指示書)のときは3点を、2回(改善指示書)のときは6点を、それでも改善が見られない3回(改善命令書)のときは、10点の減点を行う。
ただし、内容が異なる文書指導を複数回した場合は、それぞれ1回ごとに減点する。
- ☆ 口頭注意した場合で、不適切な施工、報告等があった場合は、1項目ごとに、1点から10点の範囲で減点を行う。
- ☆ 所見欄は、特記事項がある場合及び加点・減点があった場合に、具体的な評価・指導の内容を記入する。
ただし、加点・減点する際は、加点・減点するごとに、具体的に、どのように優れていたか、不適切であったかの理由を所見欄に記入する。

葛飾区工事成績項目別評定表

(契約番号)
(工種) 解体

(工事件名)
(工事場所)

評定項目	細目	評価	評価対象	項目		
施工体制	概ね適正	不備有	番号	現場確認事項		
		現場代理人 (主任技術者等) ※全体の把握 ※指揮統率力 ※施工管理能力 等を評価する	1	現場代理人等の身分は速やかに確認できた。		
			2	現場代理人は、現場の管理運営に必要な知識と経験を有するものであった。		
			3	主任・監理技術者は、建設業法に定める職務を遂行するために必要な知識と経験を有するものであった。		
			4	契約書、設計図書、関係基準等をよく理解し、現場に反映し工事を行った。		
			5	下請負人の施工体制、施工状況を把握していた。		
			6	監督員に対して、施工状況に関する連絡、報告等の内容及び時期が適切に行われた。		
			7	完了検査等において、検査員に対し施工内容に関する説明等を適切に対応していた。		
			8	監理技術者等の資格を証明する資料が提出された。		
			9	監理技術者等は、腕章及び監理技術者資格者証等を携帯していた。		
			10	周辺住民対応はすべて代理人が行い、苦情・要望に適切に対処した。		
			11	当該下請負人の施工能力は適切であった。		
			12	下請負届で記載された者が従事していた。		
			13	作業中のヘルメットの着用など安全性を重視する態度があった。		
			14	作業は手順が決められ、それぞれの作業態度が良好であった。		
			15	各作業員が、役割分担に基づいた作業を丁寧に行っていた。		
			16			
			17			
		小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。	
		基本評価点算出方法 = (概ね適正 (0.70) × 項目数 + 不備有 (0.40) × 項目数) / 対象項目数			基本評価点 (a)	
	加点理由		加点 (b)	細目評価点 (a+b)		
※官公署や他企業との調整 ※周辺住民との対応 ※監督員への報告や連絡状況	渉外調整		1	工事の着手、施工、完了に当たり、関係官公署その他の関係機関との折衝及び調整を適切に行った。		
			2	関連工事との調整を行い、工事全体の円滑な進捗に努めた。		
			3	地域住民、その他の関係者との間に紛争が生じないよう努め、必要に応じ広報等を行った。		
			4	苦情に対して、誠意をもってその解決にあたった。		
			5	監督員に苦情処理の経過等が遅滞なく報告された。		
			6	工事着手、施工、完了に当たり、関係官公署他関係機関へ、必要な届け出手続きが遅滞なく行われた。		
			7	住民説明会等で取り決めた作業時間、作業条件等の制約を遵守した。		
			8	苦情処理、折衝議事等の記録が残されていた。		
			9	作業計画と実施について、週報や月報として定期的に報告された。		
			10	事故や苦情等、現場の情報連絡は迅速に行われていた。		
			11			
			12			
			小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。
			基本評価点算出方法 = (概ね適正 (0.70) × 項目数 + 不備有 (0.40) × 項目数) / 対象項目数			基本評価点 (a)
	加点理由		加点 (b)	細目評価点 (a+b)		
現場管理	関係法令の遵守 ※建設業法や道路交通法等を遵守しているか		1	産業廃棄物の処理について、マニフェストの枚数、産業廃棄物の数量等が集計表で容易に確認できた。		
			2	施工体制台帳が、現場に備え付けられていた。		
			3	施工体系図が、工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げられた。		
			4	工事現場の施工体制が、施工体制台帳及び施工体系図と合致していた。		
			5	建退共掛金領収書が、工事着手後1ヶ月以内に監督員へ提出された。		
			6	建退共の標識が、公衆の見やすい場所に掲げられた。		
			7	建設業の許可標識が、公衆の見やすい場所に掲げられた。		
			8	労災保険関係の成立を表す標識が、公衆の見やすい場所に掲げられた。		
			9	工事実績情報サービス(CORINS)への登録手続きが、定められた期日(受注、変更時は、10日以内)までに行われた。		
			10	作業帯や施工時間等、工事協議書等の内容を守って工事をした。		
			11	振動や騒音防止のため、機械や施工について十分配慮していた。		
			12	不正軽油使用防止に努めていた。		
			小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。
			基本評価点算出方法 = (概ね適正 (0.70) × 項目数 + 不備有 (0.40) × 項目数) / 対象項目数			基本評価点 (a)
	加点理由		加点 (b)	細目評価点 (a+b)		

施工管理	施工計画 ※計画の内容 ※施工手順 等を評価する			1	施工計画書は、設計図書、現場状況を的確に把握したものであった。					
				2	施工図は、仕上げ、他工種及び関連工事との納まり等について十分検討されたものであった。					
				3	施工計画書又は施工図の内容を変更する必要がある場合、監督員への報告及び必要な措置が講じられた。					
				4	施工区域の設定は、交通計画、環境等を考慮したものであった。					
				5	施工に適した機器材、機械等が使用された。					
				6	既存施設部分及び工事目的物の構造物の養生は適切であった。					
				7	設計図書の内容に関して疑義が生じた際、監督員と協議の上、施工がなされた。					
				8	施工図は、当該工事の施工前に提出された。					
				9	工事記録写真撮影計画書が事前に監督員へ提出された。					
				10	道路使用計画は、現場の道路事情や施工手順を十分に検討していた。					
				11	現場作業は、工種ごとに決められた手順で進められていた。					
				12						
				13						
	小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。				基本評価点	(a)	
基本評価点算出方法 = (概ね適正(0.70) × 項目数 + 不備有(0.40) × 項目数) / 対象項目数									(a+b)	
	加点理由							加点	(b)	細目評価点
提出書類の整備 提出書類の整備 ※書類の提出と その内容 ※写真及び 施工データ ※記録の分析 と整理 等を評価する			1	工事の請負に関する書類の内容は、必要な項目が的確に記載されていた。						
			2	工事の請負に関する書類は、定められた期日までに提出された。						
			3	品質管理記録が適切に作成されていた。						
			4	不可視部分の写真記録が適切であった。						
			5	工事記録写真の撮影方法及び編集方法は適切であった。						
			6	材料等の搬入の証明となる資料の整理が適切に行われた。						
			7	出来形管理図又は管理表が適切にまとめられており容易に確認できた。						
			8	道路使用計画や施工計画書は、速やかに提出された。						
			9	計画書の内容は、概ね適切で手直し指示はあまり無かった。						
			10	写真の説明や配置の仕方に工夫があり、解り易くまとめられていた。						
			11	設備の総合的な機能確認及び記録の整理が適切に行われた。						
			12							
			13							
	小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。				基本評価点	(a)	
基本評価点算出方法 = (概ね適正(0.70) × 項目数 + 不備有(0.40) × 項目数) / 対象項目数									(a+b)	
	加点理由							加点	(b)	細目評価点
出来栄 ※仕上がり状態 ※手直しの多少 ※材料の品質 ※試験の成績 等を評価する			1	施工の品質及び形状が適切で良好な施工であった。						
			2	材料等の保管に関し、その方法等が適切に行われていた。						
			3	標準仕様書、各種基準類に基づく管理基準値や許容範囲を満足した。						
			4	材料等の材質、仕上げの程度、色合い、調合等について監督員の承諾を受けた。						
			5	材料等の品質証明に伴う試験方法は、設計図書に定められたもの又は監督員の承諾を受けたものであった。						
			6	各種材料等の試験成績書が監督員に提出された。						
			7	出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で容易に確認できた。						
			8	きめ細やかな施工がなされ、取合いの納まりや端部まで仕上がりが良好であった。						
			9	出来形の形状、寸法が設計値を満足していた。						
			10	技術検査(課内検査)で重大な手直しがなかった。						
			11	操作制御関係が所定の機能を有し、必要な安全装置・保護装置の機能が確認できた。						
			12	設備の総合性能が設計図書のとおり確保されていた。						
			13	完了検査で手直しはなかった。						
			14							
	小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。				基本評価点	(a)	
基本評価点算出方法 = (概ね適正(0.70) × 項目数 + 不備有(0.40) × 項目数) / 対象項目数									(a+b)	
	加点理由							加点	(b)	細目評価点

葛飾区検査成績評定表(報告書)

年 月 日

契約管財課長 あて

検査担当

件名				検査員	
履行場所				立会人	
受注者				工種	解体
案件番号				契約金額	
工期	年 月 日	から	年 月 日	まで	日間
完了月日	年 月 日	検査月日	年 月 日		
評定項目	評定項目係数 (A)		細目評価点 (B)		項目評定点 (C=A×B)
施工管理	5				(a)
品質管理	5				(b)
出来栄え	20				(c)
(注) 1. 細目評価点の算出は、別紙検査成績項目別評定表による。 2. 項目評定点は、小数点第1位を四捨五入する。 3. 減点は、手直し事項が3項目までは1点を、4項目以上の手直しがある場合は2点を減点する。 なお、大幅な手直しがあり、再検査を実施した時は5点減点する。			計		(a+b+c)
			減点		
			検査員評定点計		点
所見					

*検査員評定は、30点満点で表示する。

*所見欄は、減点などがあつた時に記入する。

葛飾区工事成績評定表(総括)

葛飾区工事成績評定表(総括)	
案 件 番 号	工 種 (解 体)
件 名	
履 行 場 所	
受 注 者	
契 約 金 額	
変 更 契 約 金 額	
工 期	年 月 日 から 年 月 日 まで
完 了 年 月 日	年 月 日
完 了 検 査 年 月 日	年 月 日
監 督 員 所 属 氏 名	
検 査 員 所 属 氏 名	
監 督 員 評 定 点	/ 70 点
検 査 員 評 定 点	/ 30 点
総 評 定 点	/ 100 点
総 合 評 価	

様

葛飾区契約担当者

葛飾区工事成績評定通知書

貴社が施工した工事について、葛飾区工事成績評定要綱に基づき成績評定した結果を下記のとおり通知します。

記

案件番号	
工事件名	
工期	年 月 日 ~ 年 月 日
完了検査日	年 月 日

項目別評定点

工事主管課評定		検査員評定	
評定項目	評定点	評定項目	評定点
施工体制	/15	施工管理	/5
現場管理	/15	品質管理	/5
工程管理	/15	出来栄え	/20
施工管理	/20	減点	/5
加点	/5		
減点	/10		
評定点	/70	評定点	/30
総評定点	/100		
総合評価			

年 月 日

長 あて

葛飾区契約担当者

葛飾区工事成績評定通知書

貴課が起工した工事について、葛飾区工事成績評定要綱に基づき成績評定した結果を下記のとおりに通知します。

記

案件番号	
工事件名	
工期	年 月 日 ~ 年 月 日
完了検査日	年 月 日

項目別評定点

工事主管課評定		検査員評定	
評定項目	評定点	評定項目	評定点
施工体制	/15	施工管理	/5
現場管理	/15	品質管理	/5
工程管理	/15	出来栄え	/20
施工管理	/20	減点	/5
加点	/5		—
減点	/10		
評定点	/70	評定点	/30
総評定点	/100		
総合評価			